

あおもり エシカル消費



キャンペーン実施期間
10/1~10/31

キャンペーン

ごはんを残さない。地元産の野菜を買う。エコバッグを持って買い物へ。小さな「気づき」が青森の未来に繋がります。

実施店舗名

青森県民生活協同組合 全店舗(つくだ店、金沢店、新城店、はまなす館、コスモス館、ひまわり館、あじさい館、さくら館、アカシア館、あやめ館、おいらせ館)
生活協同組合コープあおもり 全店舗(松原店、西弘店、和徳店、るいけ店)

たとえば...

地産地消



てまえどり



認証ラベルの ついた商品を選ぶ



マイバッグの利用



青森県エシカル消費
マスコットキャラクター
エシル

クイズに答えて

エシカル商品を当てよう！▶



「あおもりエシカル消費キャンペーン」内の「クイズに答えてエシカル商品を当てよう！」において
ご入力いただきました個人情報は、本キャンペーンの抽選及び賞品発送業務のためにのみ利用させていただきます。

「エシカル消費」とは？

エシカル(※)消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。私たち一人一人が、社会的な課題に気づき、日々のお買物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみることで、これが、エシカル消費の第一歩です。

(※) エシカル=倫理的・道徳的

∞ エシカル消費とは

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



持続可能な開発目標(SDGs)の12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

なぜ「エシカル消費」なの？

私たちは、日々の暮らしの中で、モノを買ったり、食べたり、使ったり…様々な「消費」を行っています。衣食住という限られたものだけをとっても、そこで消費する衣服や食料、エネルギーは決して少なくはありません。私たちの日々の「消費」が大切な資源の浪費につながっているとしたら…。安価なモノやサービスの生産の裏側で、劣悪な環境のなか、長時間働く労働者や、教育も受けられずに強制的に働かされている子どもたち、美しい自然やそこに住む動植物が犠牲になっているとしたら…。また、大規模災害の発生やそれに伴う風評被害、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などによる消費需要の低迷の中で、多くの事業者、生産者、労働者が苦しんでいるとしたら…。私たちの「何を買うか・買わないか」という日々の選択は、様々な社会的課題と密接につながっているのです。

「エシカルな暮らし」って？

✔ 人・社会への配慮

人・社会に配慮された商品を見つけて、選んで購入することで、より多くの人々が持続可能な生活を送れるようになります。

- ▶ フェアトレード認証商品
- ▶ 売上金の一部が寄付につながる商品
- ▶ 障がい者支援につながる商品を選択する など

✔ 環境への配慮

地球環境の現状や問題を「自分には関係ない遠い話」と見過ごすのではなく、より良い未来に向かって、一歩を踏み出しましょう。

- ▶ エコ商品を選ぶ
- ▶ お買物のときにレジ袋の代わりにマイバッグを使う
- ▶ 資源保護の認証がある商品やCO2(二酸化炭素)削減の工夫をしている商品を購入する
- ▶ マイボトルを利用する
- ▶ 食品ロスを減らす(まだ食べられるのに廃棄される食品のこと)
- ▶ 購入してすぐに食べる場合は、商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまどり」を行う など
- ▶ 電球を省エネLEDに交換する
- ▶ 地域のルールに沿ったゴミの分別を徹底する など

✔ 地域への配慮

地元の食材を「選ぶ」ことや地元のお店で商品を買うことは、地元を「応援する」ことにつながります。

- ▶ 地産地消
- ▶ 被災地で作られたものを購入することで被災地を応援する
- ▶ 伝統工芸品を購入する など

✔ みんなで支え合う社会へ

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、世界の未来を変えるために、今から行動しましょう！

- ▶ 買占めをしない
- ▶ 必要なものを必要な分だけ購入する
- ▶ 今のことだけを考えず、未来への影響を考える
- ▶ 海外で問題となっている社会的課題に目を向ける
- ▶ 自分のことだけを考えず、相手のことを考えて行動する
- ▶ ユニバーサルデザイン
- ▶ ダイバーシティ(多様性の尊重等) など